

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									<b>3.0</b>	
<b>Q-1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		<b>3.4</b>	
<b>1 音環境</b>							<b>3.0</b>		<b>3.0</b>	
1.1 騒音							3.0	0.15	3.0	1.00
1.1.1 暗騒音レベル							3.0	0.40	3.0	0.29
1.1.2 設備騒音対策							3.0	1.00	3.0	1.00
1.2 遮音							3.0	0.40	3.0	0.50
1.2.1 開口部遮音性能							3.0	1.00	3.0	0.50
1.2.2 界壁遮音性能							3.0	-	3.0	0.50
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0	-	-	-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	-	-	-
1.3 吸音							3.0	0.20	3.0	0.21
<b>2 温熱環境</b>							<b>3.5</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00
2.1 室温制御							4.0	0.50	3.0	0.50
2.1.1 室温設定							3.0	0.30	3.0	0.60
2.1.2 換気装置・温度制御性							-	-	-	-
2.1.3 外皮性能					W		3.0	0.20	3.0	0.40
2.1.4 ゾーン別制御性							5.0	0.50	-	-
2.1.5 温度・湿度制御							-	-	-	-
2.1.6 個別制御							-	-	-	-
2.1.7 時差外空室に対する配慮							-	-	-	-
2.1.8 監視システム							-	-	-	-
2.2 湿度制御							3.0	0.20	3.0	0.20
2.3 空調方式							3.0	0.30	3.0	0.30
冷暖房設備にヒートポンプユニットを採用とする。										
<b>3 光・視環境</b>							<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00
3.1 昼光利用							3.0	0.30	3.0	0.30
3.1.1 昼光率							3.0	0.60	3.0	0.60
3.1.2 方位別開口							-	-	-	-
3.1.3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.40
3.2 グレア対策							3.0	0.30	3.0	0.30
3.2.1 透明部材のグレア							-	-	-	-
3.2.2 昼光制御					W		3.0	1.00	3.0	1.00
3.3 照度							3.0	0.15	3.0	0.15
3.3.1 照度							3.0	1.00	3.0	1.00
3.3.2 照度対策							-	-	-	-
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0	0.25
<b>4 空気環境</b>							<b>4.0</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00
4.1 発生源対策							5.0	0.50	5.0	0.63
4.1.1 化学物質汚染							5.0	1.00	5.0	1.00
4.1.2 化学物質対策							-	-	-	-
4.1.3 デコ・カビ等							-	-	-	-
4.1.4 レジオネラ対策							-	-	-	-
4.2 換気							3.0	0.30	3.0	0.38
4.2.1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33
4.2.2 自然換気性能							3.0	-	3.0	0.33
4.2.3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33
4.2.4 給気計画							-	-	-	-
4.3 運用管理							3.0	0.20	-	-
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視							3.0	1.00	-	-
4.3.2 喫煙の制御							-	-	-	-
建築材料は、F☆☆☆☆を使用する。										
<b>Q-2 サービス性能</b>							-	0.30	-	2.8
<b>1 機能性</b>							<b>2.4</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00
1.1 機能性・使いやすさ							2.0	0.60	3.0	0.60
1.1.1 広さ・収納性							3.0	-	3.0	1.00
1.1.2 高度情報通信設備対応							3.0	-	3.0	-
1.1.3 バリアフリー計画							2.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性							3.0	0.40	3.0	0.40
1.2.1 広さ感・景観							3.0	-	3.0	0.50
1.2.2 リフレッシュスペース							3.0	-	-	-
1.2.3 内装計画							3.0	1.00	3.0	0.50
<b>2 耐用性・信頼性</b>							<b>3.0</b>	0.31	-	3.0
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-	-
2.1.1 耐震性							3.0	0.80	-	-
2.1.2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数							3.0	0.33	-	-
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		3.0	0.29	-	-
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.12	-	-
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-
2.3 適切な更新							-	-	-	-
2.3.1 床土(床板)・外装仕上げ材の更新							-	-	-	-
2.3.2 配管・配線材の更新							-	-	-	-
2.3.3 主要設備機器の更新							-	-	-	-
2.4 信頼性							3.2	0.19	-	-
2.4.1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備							4.0	0.20	-	-
2.4.3 電気設備							3.0	0.20	-	-
2.4.4 機械・配管支持方法							3.0	0.20	-	-
2.4.5 通信・情報設備							3.0	0.20	-	-
基本的に、節水型水栓、節水型便器を採用とする。										

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
	W	G	S							
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.0</b>	0.29	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.2</b>	
<b>3.1 空間のゆとり</b>				1Fの階高: 4.0m 外周部以外は、乾式間仕切壁を採用し空間の自由度を高める計画とする。	<b>4.2</b>	0.31	<b>4.6</b>	0.50		
1 階高のゆとり					5.0	0.60	5.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	4.0	0.40		
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					<b>2.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	0.50		
<b>3.3 設備の更新性</b>					<b>3.0</b>	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-			
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>	
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		G			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>	
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		G			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>	
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									<b>3.1</b>	
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.3</b>	
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>	W				<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>	
<b>2 自然エネルギー利用</b>					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>3 設備システムの高効率化</b>	W			基準値以下の数値を確保する。	<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>	
<b>4 効率的運用</b>					<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>	
4.1 モニタリング	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>	
<b>1 水資源保護</b>					<b>3.6</b>	0.15	-	-	<b>3.6</b>	
1.1 節水	W			節水型器具を積極的に採用し、水資源保護に努める。	<b>4.0</b>	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-		
<b>2 低環境負荷材</b>					<b>3.0</b>	0.85	-	-	<b>3.0</b>	
2.1 資源の再利用効率					<b>3.0</b>	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>2.0</b>	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料	W				<b>3.0</b>	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性	W				<b>3.0</b>	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.3</b>	0.18	-	-		
1 消火剤	W			ABC消火器使用。	4.0	0.33	-	-		
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-		
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>	
<b>1 大気汚染防止</b>	W				<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>	
<b>2 騒音・振動・悪臭の防止</b>					<b>3.0</b>	0.05	-	-	<b>3.0</b>	
2.1 騒音					3.0	0.50	-	-		
2.2 振動					-	-	-	-		
2.3 悪臭					3.0	0.50	-	-		
<b>3 風害、日照阻害の抑制</b>					<b>2.3</b>	0.10	-	-	<b>2.3</b>	
3.1 風害の抑制					2.0	0.70	-	-		
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-		
<b>4 光害の抑制</b>				屋外照明は、玄関廻り、中庭に限る。	<b>4.0</b>	0.05	-	-	<b>4.0</b>	
<b>5 温熱環境悪化の改善</b>	W	G	S		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>	
<b>6 地域インフラへの負荷抑制</b>					<b>3.9</b>	0.40	-	-	<b>3.9</b>	
6.1 雨水処理負荷抑制	W			敷地内に雨水貯留槽(地下式)を設置。	5.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	分別回収が可能なストックスペースを設置。	4.0	0.30	-	-		

■ LR-1 用途別点表		病院	-	-	-	面積按分 総合スコア
		2,774 m2	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	3.0	-	-	-	3.0
3	設備システムの ERRIによる評価 高効率化 個別設備による評価	4.0	-	-	-	4
3.1	空調設備	5.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	4.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-